

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度	
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	06 スポーツ・レクリエーション
事務事業名		05	学校体育施設開放事業
根拠法令・例規等		備前市立学校体育施設開放に関する条例	
問		担当課(室)	教育委員会スポーツ振興室
合		職・氏名	室長補佐 山本香代子
先		電話	63-3813
		このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	備前市内に在住・在学する者で構成された成人、又は成人の責任者のいる個人又は団体。
目的(何のために)	学校の空き時間を有効的に活用し、地域住民のスポーツへの参加を促すと共に個々のライフステージに応じた各種スポーツ活動が起きよう環境を整備し充実させスポーツの振興を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	地域住民が身近な体育施設で気軽にスポーツ活動ができるようになる。

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	学校体育施設開放事業	学校教育上支障のない範囲で、備前市立学校の体育施設を地域住民の体育又はスポーツ等に活用	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	1,719	1,668	1,183
	必要人員(人件費)	千円	0.34人	2,365	0.19人
	事業費計		4,084	2,689	1,183
財源	国県支出金				
	受益者負担		1,989	410	420
	繰入金				
	その他( )				
	一般財源		2,095	2,279	763
	受益者負担率	%	48.7%	15.2%	35.5%
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	学校体育施設利用者	説明	学校体育施設をスポーツ・レクリエーションのために利用する人数		
	結果指標量	人	130,894	115,198	96,689
	対前年比	%	-	88.0%	83.9%
	活動コスト	円	0	0	0
	単位当たりコスト		0	0	0

事業の成果						
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値	
		目標値(A)	120,000	131,000	131,000	131,000
体育施設利用者		実績値(B)	130,894	115,198	96,689	
		達成率(B/A)	109.08%	87.94%	73.81%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
学校体育施設の利用者数(年間の利用延人数)						

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>B</b>
		市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている
有効性の評価	目的達成度 市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> <b>B</b>

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	平成21年度から実施した、管理体制の見直しにより、コスト削減の効果があり、使用者の利便性も高まり問題なく実施できている。					

総合評価	
学校の実情にあった鍵の管理が整い、概ね問題なく利用できた。	評価区分 <A-E> <b>B</b>

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	今以上に地域のスポーツを振興させるためには、身近な体育施設である学校の体育施設を、学校運営に支障のない範囲で有効に活用できるよう、学校と連絡を密に取りあいながら環境を整える必要がある。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項  
 事業の目的やその数値の目標を達成するための成果指標